

# ひとり親家庭の支援施策の 方向性

ひとり親家庭の貧と困をなくすには

NPO法人しんぐるまざす・ふぉーらむ理事長

赤石千衣子

(シングルマザーサポート団体全国協議会代表)

# しんぐるまざあず・ふぉーら むの事業

## 就労支援事業

- キャリア支援プログラム「未来への扉」
- オフィスワーク就労支援プログラム「明日に花咲く」

## 相談事業

- 電話メール相談
- グループ相談会
- 食料支援（年間1785箱を送付）

## セミナー事業

- 当事者向け法律講座、エンパワメントセミナー
- 支援者養成講座

## 情報発信事業

- Smoms ひとり親向けフリーペーパー
- シングルマザー365日サポートブック
- 教育費サポートブック

## 子育て支援事業

- 新入学お祝い金事業
- 親子のイベント
- 政策提言

シングルマザーと  
子どもたちが生き生きと  
くらせる社会の実現



# 食料支援 フードフォーキッズ (240世帯に年6回送付)感想から

- すぐに食べられる物やストックしていても困らない物をいただくことができ、毎回どんなに助けられていることでしょう。特に、お米は本当に助かっております。
- 中3の長女は部活の終わった夏休み前から本格的に塾に通わせていますが、それ以前から生活はギリギリだったため、塾代の捻出にとっても苦労しています。パートのため休日を削って出勤するくらいしか出来ず、老体にむち打ち頑張っています。



# はじめに

2003年に母子家庭等の生活の安定と向上のための措置に関する基本方針を定めてから10数年。

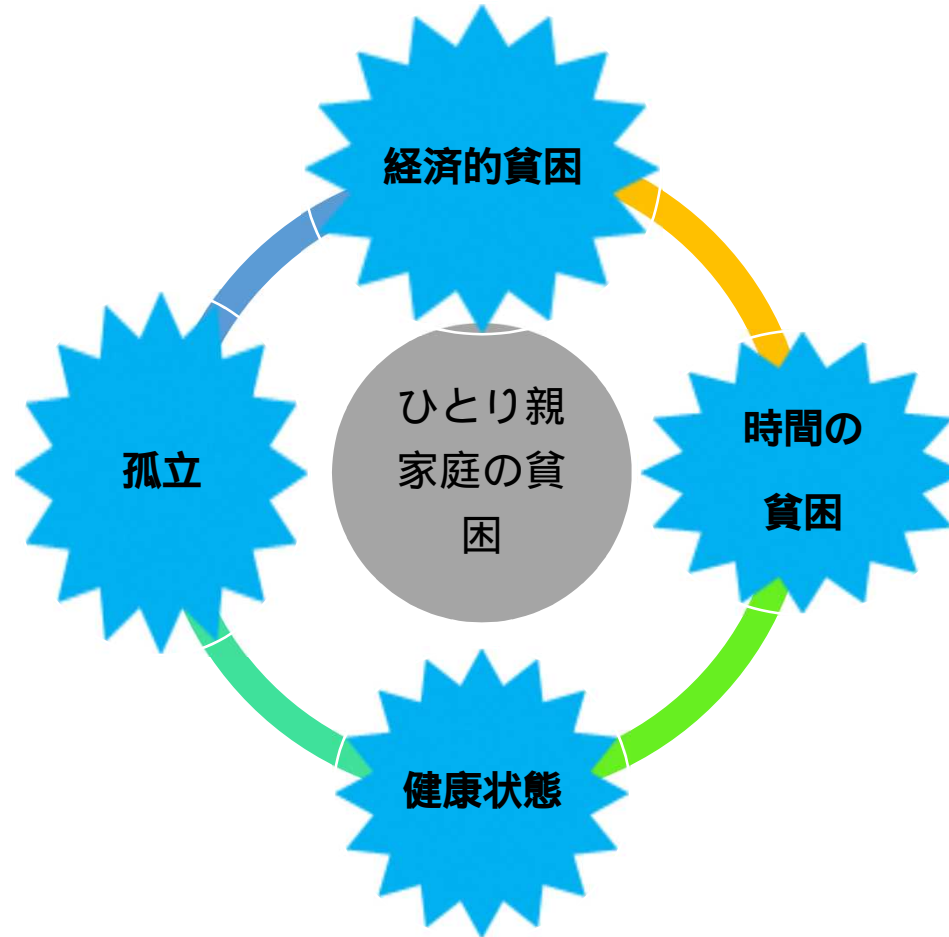
支援施策の改善はあったが、依然として厳しい状況。子どもの貧困の中核はひとり親家庭の貧困。相対的貧困率は50%を超えている。

ひとり親家庭の困難を解決する道筋をつくりたい。そのためには社会的合意形成が必要。

# 1、就労支援策の評価、検討、展開

- 就労率は80%を超えている。
- 資格取得、能力開発支援だけでなく基盤となる自己尊重感を向上させるエンパワメントが必要
- ライフステージに合わせたスキルアップ支援を考えるが必要
- 長時間の就労により親子の時間が奪われることのないような支援施策が必要
- 在宅就業支援施策は廃止含め検討する
- 高校卒業資格支援と居場所事業の必要性
- 健康/障害等の状態に応じた就労支援が必要

# お金、時間、健康、社会的関係の貧困





## 2、経済支援について

### ○児童扶養手当

- 相対的貧困率を半減させるという目標をすえて、支給額を2倍程度にする必要がある。遺族基礎年金の額を目標に増額していくべきでは。
- 全部支給所得制限を200万円へ（年収ベース）
- 窓口対応マニュアルをつくる（ハラスメントをなくすために）
- 離婚前別居中ひとり親への支援の検討
- 児童扶養手当法13条3（5年間手当支給後の一部支給停止）と適用除外の改正撤廃
- 障害年金との併給についての課題

## 2、経済支援について

### ○貸付金について

- 連帯保証人が必要でない貸付の拡充を

# 仕事と子育ての両立の困難

いいお母さん  
になりたい。

仕事のブラ  
ンクがある  
から不安

正社員にな  
りたいけど  
長時間働け  
ない

子どもの保  
育は

子どもが病  
気のと看ど  
うしたらい  
いの？

子どもの教  
育費を準備  
しないと

# 3、子育て支援、生活の場の整備について

- **仕事と子育ての両立支援が必要。具体的には日常生活支援事業への支援の拡充とファミリーサポート事業の減免措置の選択を自治体が可能とすること**
- **セミナー・交流事業の活性化**
- **教育費、ライフプラン、エンパワメントなどのセミナーの実施**

# 4、相談体制と制度の周知について

- 相談時間の検討（夜間、土日）
- SNSの相談の検討、AIを使った相談システムの構築
- 母子父子自立支援員が本来業務をできるよう体制の整備と研修の拡充
- 広報周知について
- 窓口ハラスメントをなくすことによる相談機会の増大

## 5、養育費の確保支援と面会交流支援

- 養育費の取り決め支援、債務名義化支援、不払いの債務者の情報提供支援、不払いの強制執行支援など、国としての方策を法務省と協力して実施
- 面会交流支援については、DV被害・虐待等があり面会交流支援が必要なケースについて全国に面会交流支援団体ができるよう、法務省/裁判所と協力して支援機関への支援を行う
- 共同親権制度については、面会交流時に殺人事件が伊丹市、諫早市で起こっていることもあり、慎重な対応を求める

## 6、離婚前・出産前のひとり親への支援

- 離婚前親教育だけでなく、離婚前生活支援が必要
- 別居中に単独世帯としての支援が受けられる方策
- 児童手当の支給名義の変更
- 社会保険の扶養をはずすなど技術的な問題で現状優先を行う
- 同時に未婚の母になる前の妊娠期からの支援も必要。

## 7、児童虐待とDV被害、再婚 のリスク等について

- 配偶者からの暴力防止と、児童虐待が密接に重複しているケースで重大な事件が起こっている。
- ひとり親であるときの支援が適切であったのか検討が必要。



ひとり親と子どもたちのために

